

2011年3月期決算の概要

■ 連結決算の概要

売上高：ジェネリック医薬品の増収により、売上高は14.1%の増収

ジェネリック医薬品は、昨年4月から実施された更なる使用促進策を背景として保険薬局を中心に売上が伸長した結果、連結で前期比23.8%、単体では同19.4%の増収となりました。

一方、主力品が薬価改定や競争激化の影響を受けてほぼ計画通り12.9%の減収となったことから、売上高は27,361百万円、同14.1%の増収となりました。

利益：営業利益、経常利益、当期純利益ともに前期比2倍以上の伸長

売上高の増収に加えて、売上原価率が一昨年の12月より子会社化した日本薬品工業株式会社の連結取り込み効果等により前期比0.2ポイント改善したこと、経費の効率的使用を推進したことにより販管費率が同3.9ポイント改善したことから、営業利益は1,999百万円（同約2.6倍）、経常利益は1,818百万円（同約3.1倍）、当期純利益は573百万円（同約2.1倍）となりました。

業績予想：2012年3月期も増収増益を見込む

2012年3月期においてもジェネリック医薬品の2桁成長を見込んでおり、売上高は29,100百万円、当期比6.4%の増収を見込んでおります。その結果、営業利益2,500百万円（同25.1%増）、経常利益2,300百万円（同26.5%増）、当期純利益1,100百万円（同92.0%増）となる見込みです。

■ 連結損益の概況

(金額:百万円)

	2010年3月期		2011年3月期			2012年3月期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	金額	増減率
売上高	23,982	100.0%	27,361	100.0%	14.1%	29,100	6.4%
医薬品事業	22,907	95.5%	26,205	95.8%	14.4%		—
その他	1,075	4.5%	1,155	4.2%	7.5%		—
売上原価	11,448	47.7%	12,990	47.5%	13.5%		—
原価率増減P		+1.1P		△0.2P			—
販管費	11,767	49.1%	12,371	45.2%	5.1%		—
販管费率増減P		△1.7P		△3.9P			—
営業利益	767	3.2%	1,999	7.3%	2.6倍	2,500	25.1%
経常利益	587	2.4%	1,818	6.6%	3.1倍	2,300	26.5%
当期純利益	270	1.1%	573	2.1%	2.1倍	1,100	92.0%

セグメント区分の見直しに伴い、2010年3月期の「医薬品事業」および「その他」の数字を変更しております。

■ 主要品目の荷離状況（単体）

（金額：百万円）

	2010年3月期		2011年3月期			2012年3月期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	金額	増減率
医療用医薬品（荷離）	21,416	100.0%	23,298	100.0%	8.8%	25,230	8.3%
ジェネリック医薬品	14,360	67.1%	17,150	73.6%	19.4%	19,550	14.0%
アムロジピン	1,838		2,506		36.3%	2,810	12.1%
プラバスタチン	1,234		1,272		3.1%	1,310	3.0%
ボグリボース	1,003		1,115		11.2%	1,170	4.9%
ランソプラゾール	927		1,320		42.4%	1,390	5.3%
その他	9,358		10,937		16.9%	12,870	17.7%
主力品計	7,056	32.9%	6,148	26.4%	△12.9%	5,680	△7.6%
ウラリット	3,376		3,119		△7.6%	3,120	0.0%
ソレトン	3,077		2,512		△18.4%	2,080	△17.2%
カルバン	603		517		△14.3%	480	△7.2%

■ 研究開発費等（連結）

（金額：百万円）

	2010年3月期		2011年3月期			2012年3月期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	金額	増減率
研究開発費（連結）	1,722	7.2%	1,878	6.9%	9.1%	1,970	4.9%
減価償却費（連結）	695	2.9%	775	2.8%	11.5%	800	3.2%
設備投資額（連結）	681	2.8%	584	2.1%	△14.2%	980	67.8%

本件に関するお問い合わせ先
 日本ケミファ株式会社 広報室
 Tel: 03- 3863- 1211

※本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

<参考資料>

■ 主要品目の荷離状況（連結）

（金額：百万円）

	2010年3月期		2011年3月期			2012年3月期予想	
	金額	構成比	金額	構成比	増減率	金額	増減率
医療用医薬品(荷離)	21,584	100.0%	24,138	100.0%	11.8%	26,340	9.1%
ジェネリック医薬品	14,528	67.3%	17,990	74.5%	23.8%	20,660	14.8%
アムロジピン	1,872		2,690		43.7%	3,020	12.3%
プラバスタチン	1,252		1,362		8.8%	1,390	2.1%
ボグリボース	1,011		1,148		13.6%	1,200	4.5%
ランソプラゾール	935		1,367		46.2%	1,460	6.8%
その他	9,458		11,423		20.8%	13,590	19.0%
主力品計	7,056	32.7%	6,148	25.5%	△12.9%	5,680	△7.6%
ウラリット	3,376		3,119		△7.6%	3,120	0.0%
ソレトン	3,077		2,512		△18.4%	2,080	△17.2%
カルバン	603		517		△14.3%	480	△7.2%

※日本薬品工業株式会社は2010年3月期第4四半期より連結対象となっております。